

第84回国立歴史民俗博物館運営会議議事要旨

日時 令和5年3月16日（木）11:00～12:05
場所 国立歴史民俗博物館 大会議室（Zoom会議との併用）
出席者〔館外運営会議委員〕
市澤委員（副議長）、江村委員、小澤委員、木川委員（Zoom出席）、木下委員、
坂上委員、鈴木委員、徳丸委員（Zoom出席）、村上委員（Zoom出席）
〔館内運営会議委員〕
山田委員（議長）、関沢委員、小倉委員、内田委員、高田委員、松木委員、
大久保委員、林部委員、日高委員、三上委員
欠席者 梅崎委員、バートン委員
陪席者 館長、管理部長、総務課長、財務課長、研究協力課長、博物館事業課長、
総務企画係、人事係

会議開会にあたり、西谷館長から挨拶があった。

総務課長から、出席委員19名により本会議が成立している旨報告があり、併せて配付資料の確認が行われた。

○議 事

（1）前回議事要旨確認

山田議長から、資料1に基づき前回（令和4年12月22日開催第83回国立歴史民俗博物館運営会議）議事要旨（案）の確認が行われ、原案どおり承認された。

（2）審議事項

①教員公募要項（案）について

・教員公募要項（美術史）（案）について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料2-1に基づき、教員公募要項（美術史）（案）について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

・教員公募要項（近現代史）（案）について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料2-2に基づき、教員公募要項（近現代史）（案）について説明があった。

村上委員から、候補者の年齢条件等の有無について質問があり、関沢委員から、年齢条件の規定はない旨回答があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

②その他

・運営会議館長候補者選考委員会に関する申し送り事項等について

山田議長から発議があり、渡邊総務課長から、資料3に基づき、令和2年3月13日開催の運営会議における館長選考手続きに関する申合せ及び適任者名簿作成に関する申合せ等に関する申送事項等についての対応案と、館長選考に関するQ&A、人間文化研究機構内の他機関の館長等の選考の実施状況等について説明があった。

高田委員から、適任者名簿記載者への通知について申送事項等についての対応案とQ&A（Q8）の回答において齟齬があるとの質問があり、総務課長から本会議において申送事項等についての対応案が承認された後、Q&Aの回答を変更する旨回答があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 報告事項

①教員候補者選考委員会報告

- ・令和5年度客員教員の採用について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料4-1に基づき、山田康弘客員教授（継続）と春日聡客員准教授（新規）の採用について報告があった。

- ・令和5年度特別客員教員の委嘱について

山田議長から発議があり、木下教員候補者選考委員会委員長から、資料4-2に基づき、新規の7名の特別客員教員の委嘱について報告があった。

②資料収集委員会報告

- ・令和3年度受入れ資料について

山田議長から発議があり、市澤資料収集委員会委員長から、資料5に基づき、令和3年度に受入れた購入資料及び寄贈資料等について報告があった。

木下委員から、九州療養所関係資料について質問があり、内田委員から、ハンセン病に関する資料である旨回答があった。今後は近代資料については会議資料に年代や説明文章等を記載することとなった。

③歴博の活動状況について

- ・歴博の研究活動への御提言について

山田議長から発議があり、小倉委員から、口頭にて研究広報や研究報告書の電子化等の当館の研究活動の状況について報告があった。

- ・歴博の活動状況について

山田議長から、資料6をご覧いただき、質問等があればお受けしたい旨発言があった。

(4) 館長挨拶

西谷館長から、国立台湾歴史博物館との共催展示の進捗状況や歴博フォーラム及び『REKIHAKU』などによる研究広報活動を事例に、研究だけではなく教育・展示・広報ができるゼネラリストの研究者を育成していきたい旨説明があった。

(次回以降の開催予定)

山田議長から、令和5年度の本会議の開催日程について以下のとおり報告があった。

- ・(第1回目) 令和5年 5月29日(月) 午後
- ・(第2回目) 令和5年10月26日(木) 午後
- ・(第3回目) 令和5年12月 7日(木) 午前
- ・(第4回目) 令和6年 3月 8日(金) 午後